

2024年度 ロングステイ財団 事業報告		
経営理念（ミッション）	あるべき姿（ビジョン）	基本方針
ロングステイ（長期滞在型旅行）の普及啓発、調査研究、情報サービス提供を通して、新しいライフスタイルの提案により、人々の豊かな社会の実現に貢献する	①個人会員及び潜在会員に対し、信頼できるロングステイの情報や交流、各種利便を通じ、ロングステイの実施実現を支援していく。 ②法人会員のロングステイに関する商品・サービスの効果的な提供支援を行い、個人会員及び潜在顧客の利便を図る。 ③環境の変化に対応した、個人法人のマーケット開発を絶えず行う。	①個人法人会員（潜在顧客含む）お互いの利便が図れる事業や施策を絶えず考え行動する ②財務目標：2025年度単年度公益・収益事業合算黒字化 ③海外ロングステイを維持し、国内ロングステイを伸ばす ④財団の資産を最大限生かす （資産：ブランド、法人個人会員、アドバイザー、商標等） ⑤環境の変化に対応 （働き方改革、地域創生インバウンド、デジタル革命等）

大項目	項目	2024年度実施内容	優先度	レベル	事業報告	時期	目標・指標
1. 普及啓発活動	(1) ロングステイフェアの開催 (公的事業)	(1) ロングステイイベントの実施 期日：2024年3月予定	★★	1.0	(1) ロングステイイベント セミナーをメインとしたイベント「ロングステイセミナー2025」を実施 日時：2025年3月30日（日）10：00～17：00 場所：東京国際フォーラムガラス棟7F 来場人数：546名（事前予約者数：755名）参加社数 9社	3月	【来場者数】目標700名 【参加社数】17社
	(2) ロングステイセミナーの実施 (公的事業)	(1) 法人会員・関係団体と連携したセミナーの実施	★	1.0	(1) ロングステイ人気国とのプロモーション強化 ①マレーシア政府観光局の連携したイベントの実施 セミナーを提案中であるが、新しく発表された長期滞在ビザのスタート時期が未定のため実施に至っていない。また、東京局長も新たに着任されるため再度関係構築。 ②フィリピン退職庁との包括的な年間のプロモーション契約を提案 日本でのGSAのような機能が財団でできないかを含めて提案、意見交換を行っている。 また、ロングステイセミナー実施に合わせた包括したプログラム提案により	通年	
	(3) 個人会員及び潜在顧客価値提供 (公的事業)	(1) 個人会員向特典の拡充や交流会・各種イベントの実施	★★	1.2	(1) 個人会員特典の拡充 ①会員限定セミナー&交流会実施（年4回） 【参加者数】12/18パラオ	通年	交流会・イベント実施件数：目標4回/年
	(4) 法人会員価値向上	(1) 法人会員の課題解決（ソリューション事業） (2) 新しい法人会員の開拓	★★	1.2	(1) 法人会員へのビジネス創出を後押し ①賛助会員特典として、賛助会員ビジネスを紹介するオンラインセミナーを実施。 1～3月に実施予定していたが、ロングステイセミナー2025に集約する形とした。 ②賛助会員同士の交流の場として賛助会員交流会を実施。 ①10/31（参加者：8社・団体9名参加） ②2/12（賛助会員参加者：8社・団体8名参加）※賛助会員総会内 ③古民家再生協会と連携して、サステナブルなまちづくりプランナー及び空き家課題 トータルコンサルタント資格講習・試験業務の受託。 （年間見込み受講者：546名、年間見込み受託費：273万円） (2) 新規賛助会員開拓のための新領域への取り組み ①包括的なマーケティング契約で年間の取り組みを強化 パラオ観光局に対して3年計画でのプロモーションプランを提案、受託。 本年度は次年度以降のプロモーションを見据えたロングステイアドバイザーの現地研修 FAMを実施し、2名のロングステイアドバイザーを派遣した。	通年	
	(5) ロングステイマーケット普及に向けた 情報発信	(1) 季刊誌の発行による情報提供	★	1.0	(1) 季刊誌と連動させたウェブトークショーを実施。（年間4回） 【参加者数】5/22冬&春号（20名）、9/14夏号（21名）、11/30秋号（14名）、2/19冬号（19名）	通年	
2. マーケット開発	(1) 新しいロングステイマーケットの開発	(1) 国内のディステーション開発	★★	1.1	(1) 国内ロングステイ強化 ①自治体、省庁交付金・補助金事業への応札。 観光庁の観光新発見公募事業について一次募集で1件（広島県（江田島））、 二次募集で2件（千葉県（神崎町）、京都（亀岡市））の受託ができた。 来年度の観光庁の公募事業等を想定し、既存の顧客や賛助会員、また連携自治体との 準備を早めに進めていく。 ②その他、地域再生計画に向けての資料作成、企画立案を行い、ロングステイに適した 地域づくりのサポートを行う。 (2) 二地域居住促進プロジェクト取組 8/20勉強会の実施（参加者：141名）	通年	【観光庁予算】 地域観光新発見事業 事業

大項目	項目	2024年度実施内容	優先度	レベル	事業報告	時期	目標・指標
3. 調査研究活動	(1) ロングステイ調査統計の実施 (公的事業)	(1) 調査統計・分析レポートの実施	★	1.0	(1) ロングステイ調査統計の発刊 年度内発刊に向けて準備していたが、来年度上期内に持ち越す。	11月	
4. 支援育成活動	(1) ロングステイアドバイザー研修の実施 (公的事業)	(1) 従来のロングステイアドバイザー研修の実施 (2) インバウンド、二地域居住等の研修内容を盛り込んだ新たなロングステイアドバイザー研修制度の企画立案	★	1.1	(1) 20名以上の受講者の集客を見込める方法をロングステイアドバイザー協会と協議した上で実施の可否を検討 第4四半期計画のアドバイザー研修実施に向けた検討をロングステイアドバイザー協会と検討調整、来年度上期内に実施予定。 (2) 早急に人材育成に必要なインバウンド、二地域居住などの新たなロングステイの領域についての講習を自治体、宿泊事業者等に販売するための新たなロングステイアドバイザー研修プログラムの立ち上げに向けた聞き取り調査と企画立案の実施各所へヒアリング等を実施中。		
	(2) ロングステイアドバイザー協会活動の支援	(1) 協会運営及び各委員会活動の支援	★	1.1	(1) 理事会開催 理事会11回開催 (2) 各委員会活動の支援 ①広報委員会 ホームページ・SNS（フェイスブック・インスタグラム）発信 3/30ロングステイセミナー相談デスク設置運営 ②研修交流委員会 アドバイザー実践講座の実施（5回開催） アドバイザー交流会開催（リアル2回実施） ③事業委員会 観光庁地域観光開発事業の事業者紹介 （紹介4件採用2件広島県江田島市・千葉県神崎町） YouTube動画制作発信（5件） ④企画部の新規開設 ロングステイ座談会実施1回 海外視察プログラムの設定	通年	
	(3) 長期滞在・ロングステイ観光学会活動の支援	(1) 学会事務局運営の支援	★	1.0	(1) 学会運営実施に向けた支援 個人会員62名 賛助会員4社 ①2024年度総会の実施（5/18開催） ②理事会開催（4回開催） ③年次大会・学術発表（3/1開催） ④会計管理業務受託	通年	
5. 組織運営活動	(1) 組織運営	(1) 理事会（年3回）（事業計画・報告、予算審議） (2) 評議会（年2回）（同上、理事監事選任解任） (3) 定例会議（月4回）	★	1.0	(1) 理事会開催（6/7、11/27、3/7開催） (2) 評議員会開催（6/27、3/24開催）	通年	
	(2) 管理業務の改善強化	(1) 一般管理費の不要なコスト削減 (2) 働き方改革に伴うテレワークの実施	★	1.0	(1) 不要なコストの洗い出しと削減の実施 管理費の見直しによるコスト削減 (2) テレワークの実施による効率的な働き方の実践	通年	管理費： 前年対比2.5%削減